



なみ き 埼玉県議会議員 並木まさとし

無所属 県民会議



発行者
連絡先

埼玉県議会議員 並木正年
〒365-0038 鴻巣市本町3-2-19-B
TEL 541-7777 / FAX 543-8000

日頃の活動は
ホームページで!

並木まさとし

検索

namikimasatoshi@soleil.ocn.ne.jp



高齢者の新型コロナウイルスワクチンの分配について

分配時期	分配量	接種可能人数	分配先市町村
4月5日の週	1箱×2回接種分	975人	さいたま市
4月12日の週	計5箱×2回接種分	計4,875人	川口市 和光市 本庄市 戸田市 寄居町
	・1箱×2回接種分	975人	
	〃	〃	
	〃	〃	
	〃	〃	
4月19日の週	計5箱×2回接種分	計4,875人	ふじみ野市 川越市 三郷市 所沢市 毛呂山町
	・1箱×2回接種分	975人	
	〃	〃	
	〃	〃	
	〃	〃	
4月26日の週	0.5箱×2回接種分	485人	全市町村

知事の記者会見で高齢者のワクチン接種についての市町村分配が示されました。鴻巣市では4月26日の週に485人が接種対象予定になります。しかし、市における65歳以上の人口は約3.5万人のため、接種対象者をどう抽出するかは各自治体の判断に委ねられています。

この極めて少量のワクチンを自治体判断に任せることは役所の混乱をきたし、問い合わせなど対応に追われることも考えられます。

ファイザー製のワクチンは基本的に3週間を空けて2回目の接種をおこないますが、報道等では1回の接種でも効果が実証されているようですので、今回示された人数を倍にして多くの高齢者に接種、そして次のワクチンが入手でき次第に2回目の接種を行う選択肢もあったのではないかと感じます。(国の指示により今回のようになりました)

特に重症化するリスクの高い基礎疾患のある高齢者はかかりつけ医の診療履歴で選出できます。また、指定難病や障がいを持つ方は県・市の助成金対象となっていますので素早く抽出できると思います。今回の限られたワクチンを優先するべき対象者へ確実に接種する体制を早急に構築する必要があります。

今後の病床確保見込みについて

本日、3月1日から2医療機関の59床が運用を開始します



本県では新規陽性者数の減少から病床使用率、宿泊療養者数、自宅療養者数共に減少しています。病床使用率が減少している要因として、新規陽性者の減少もさることながら県の積極的な医療機関への働きかけと、それに応じていただいた医療機関のご協力によって今年に入ってから3月15日時点で188床増(うち重症者用38床増)の効果もあると思います。

緊急事態宣言が2週間延長され、宣言解除の目安となる指標が公表されました。(入院中の患者数が週平均で

500人以下、1週間の新規陽性者数が人口10万人あたり7.0人以下=734万県民なので1日あたり73.4人を目安とし、首都圏の新規陽性者を参考として専門家の意見を踏まえて解除要請を判断)

また、今後の議論としては確保病床数については3月末に仮設専用施設を含めて1,469床を確保する見込みですが、この確保病床をどの時点で縮小していくのか。さらに、宿泊療養先であるホテルについてはオリンピックでの契約が先にあったため療養先の確保も気になるようです。確保病床数は必要ですが、救急搬送先の受け入れや一般入院患者への影響を見ながらの難しい判断が迫られます。

新型コロナウイルスワクチンの接種を受けた方へ

～接種後(特に接種直後～数日間)は体調に注意しましょう～

ワクチンを受けた後は、**15分以上は接種会場で座って様子をみてください。**
(過去に重いアレルギー症状(アナフィラキシーを含む)や、採血等で失神や気分が悪くなったことがある方は**30分ほどお待ちください。)**

起こるかもしれない症状(接種者の10%以上に起こったもの)

本ワクチンは筋肉内注射のため、痛みや腫れなどの軽い副反応は頻繁に現れますが、**通常、数日以内に治ります。**必要に応じて解熱鎮痛剤を服用するなど、しばらく様子をみてください。
(日常生活に支障をきたす重い症状の割合は、ごくわずかです。)

【症状の発現状況、時期、持続期間】

症状										
	痛み	腫れ	下痢	筋肉痛	関節痛	頭痛	疲労	寒気	発熱	
発現割合	84.3%	10.6%	15.5%	37.9%	23.7%	55.1%	62.9%	32.4%	14.8%	
発現時期	接種当日			接種翌日						
持続期間	約2日			約1日						

【重い症状の発現状況】

症状	痛み	腫れ	下痢	筋肉痛	関節痛	頭痛	疲労	寒気	発熱
発現割合	1.5%	0.4%	0.3%	1.8%	0.9%	2.4%	4.2%	1.8%	—

出典：海外第Ⅰ/Ⅱ/Ⅲ相試験(C4591001試験)及び国内第Ⅰ/Ⅱ相試験(C4591005試験)

このワクチンは2回接種を受ける必要があります。これらの症状の多くは、**1回目の接種より2回目の接種時に高い頻度**で認められました。また、**高齢者よりも非高齢者に高い頻度**で認められました。副反応が生じるのは、免疫反応のあらわれと考えられ、きちんと免疫ができていない証拠ともいえます。

上記のような症状が続いたり、いつもと違う体調の変化や異常があれば、**接種を受けた医療機関やかかりつけ医、もしくは、県の専門相談窓口**へ相談してください。
 ひどい痛み・腫れ、高熱など重い症状と思われる場合は、医師の診察を受けてください。

問合せ

埼玉県 新型コロナウイルスワクチンチーム ☎048-830-3557 FAX 048-830-4808

埼玉県の病床確保の現状と推移

県内では多くの医療機関のご協力により1,469床の病床確保(うち重症者病床149床)をしています。また、病院の駐車場など仮設専用医療施設の整備を進め3月1日から受け入れを開始しました。

病床数の推移は病床使用率のピークであった4月23日には確保病床数 300 に対して使用率は74%でしたが、6月には陽性者の減少から確保病床数を240床に縮小するなど柔軟な調整をおこなっています。

陽性率や感染者数の状況に応じて病床の確保を進めていますが、**現在の確保病床数は1,469床に対して病床使用率は約37%**です。また、重症者病床の使用率は約24%です。(3月22日現在)

*これまでの確保病床数の推移

～4月16日	～12月14日	～1月4日	～2月8日	～3月14日	3月20日～
225床	1,211床	1,251床	1,321床	1,435床	1,469床
うち重症60床	うち重症105床	うち重症108床	うち重症141床	うち重症146床	うち重症149床



昭和45年鴻巣市本町生まれ/鴻巣幼稚園/鴻巣東小学校/鴻巣中学校/埼玉栄高校(サッカー部)/亜細亜大学経済学部国際関係学科卒/セントラルワシントン大学AUAP課程修了/鴻巣幼稚園保護者会副会長/鴻巣東小PTA副会長/鴻巣市商工会青年部第31代部長/第8回こうのす花火大会代表/鴻巣市消防団第2分団員(23年目)/鴻巣市議会議員2期/埼玉県議会議員2期目/企画財政委員/少子・高齢福祉社会対策特別委員/新型コロナウイルス感染症対策特別委員

プロフィール